

日薬情発第 127 号
令和 4 年 11 月 11 日

都道府県薬剤師会 担当役員殿

公益社団法人日本薬剤師会
副 会 長 渡 邊 大 記

令和 4 年第二次補正予算案
保健医療福祉分野の公開鍵基盤(H P K I)普及事業への対応について

平素より本会会務にご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、11 月 8 日、政府は、令和 4 年度一般会計補正予算を閣議決定しました。厚生労働省関連の補正予算には、電子処方箋の安全かつ正確な運用に向けた環境整備・保健医療福祉分野の公開鍵基盤 (HPKI) の普及の一つとして、表記の「保健医療福祉分野の公開鍵基盤(H P K I)普及事業」が含まれております。

本事業では、22 億円が計上され、「電子処方箋へ電子署名が行えるよう、認証局にカード発行費用を補助し、H P K I カードの普及推進を行う。また、カードの発行を前提に、カードの紛失や緊急に処方箋に署名が必要な場合といった万が一の事態に備えてカードレスでも電子署名することができるクラウド署名サービスの構築を行い、その利便性の向上を図る。」とされています。

(https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/22hosei/dl/22hosei_20221108_01.pdf)

本事業は、補正予算の成立 (12 月 10 日予定の今国会閉会頃) 後に作成される要綱に基づき実施されることとなりますので、現時点での詳細は未定です。

本会と致しましては、情報収集に務めるとともに、どのように対応するかについての検討を進める所存です。対応の詳細が決まり次第、速やかにご連絡いたしますので、ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。